

2010年5月31日

各 位

双日株式会社

双日、欧州で太陽光 IPP 事業に参画
～ 世界最大の市場であるドイツで太陽光発電所を操業 ～

双日株式会社は、太陽光発電の最大の市場であるドイツにおいて太陽光 IPP（独立系発電事業者）事業に参画します。太陽光発電事業会社であるソウジツ・ソーラー・ベッツヴァイラー社（本社：デュッセルドルフ、Sojitz Solar Betzweiler GmbH／双日欧州会社 100%）を設立し、ドイツ南部のベッツヴァイラーで 3MW（3000kW）の太陽光発電所の操業を開始しました。総事業費は約 10 億円で、そのうち約 85%の資金をドイツ復興金融公庫（KfW）の制度金融を利用したプロジェクトファイナンスで調達しました。



【ベッツヴァイラーの太陽光発電所】

発電した電力は、ベッツヴァイラーを管轄する配電事業者である EnBW 社（本社：シュツットガルト、EnBW Regional A.G.）に販売します。EnBW 社は長期売電契約に基づき、電力の全量を 31.94 ユーロセント／kWh（約 40 円／kWh）の固定価格で 20 年間にわたり引き取ります。発電所の運営にあたっては、太陽光発電システムインテグレーターのヴィルソル社（本社：ワグホーゼル、Wirsol Solar A.G.）に保守・管理を委託します。

ドイツはフィードインタリフ（固定価格買取制度）をはじめとして、太陽光発電の普及を後押しする制度や法律が整備されており、世界一の市場に成長しています。また、EUは2020年までに温室効果ガスを20%削減する目標を掲げて再生可能エネルギーの導入を推進しています。

双日は、中期経営計画「Shine 2011」で、環境・新エネルギー分野を新規育成分野と位置付けています。太陽光発電事業については、原料供給から部材供給、発電事業までのバリューチェーン構築に取り組んでいます。アジアでは韓国の太陽光システムインテグレーターに出資、米国では太陽光発電デベロッパーと資本・業務提携してノウハウの蓄積を図っていますが、ドイツでのIPP参画を足がかりに、欧州でも事業を拡大していきます。



【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3188